

設置の60日前までに提出すること

(例) 特定施設設置届出書

令和 年 月 日

(宛先) 公共下水道管理者

申請者

住所

〇〇市〇〇丁目〇番〇号

電話番号

△△-△△△△-△△△△

氏名又は名称及び法人に

つてはその代表者の氏名 ○ ○ ○ ○ 印

下水道法第12条の3第1項(下水道法第25条の10第1項において準用する同法第12条の3第1項)の規定により、特定施設の設置について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称	〇〇株式会社	※整理番号	
	△△工場	※受理年月日	令和 年 月 日
工場又は事業場の所在地	野田市〇〇丁目	※施設番号	
	〇番地の〇	※審査結果	
特定施設の種類	67 洗濯業の用に供する洗浄施設	※備考	
△特定施設の構造	別紙のとおり。		
△特定施設の使用の方法	別紙のとおり。		
△汚水の処理の方法	別紙のとおり。		
△下水の量及び水質	別紙のとおり。		
△用水及び排水の系統	別紙のとおり。		

備考

- 1 申請者の氏名(法人にあつてはその代表者の氏名)の記載を自署で行う場合においては、押印を省略することができる。
- 2 △印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。
- 3 ※印の欄には、記載しないこと。
- 4 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本工業規格A4とすること。

使用開始より30日以内に提出すること

（例）特定施設使用届出書

令和 年 月 日

（宛先）公共下水道管理者

申請者

住所

〇〇市〇〇丁目〇番〇号

電話番号

△△-△△△△-△△△△

氏名又は名称及び法人に

つてはその代表者の氏名 ○○○○ 印

下水道法第12条の3第2項（下水道法第25条の10第1項において準用する同法第12条の3第2項）
下水道法第12条の3第3項（下水道法第25条の10第1項において準用する同法第12条の3第3項）

の規定により、特定施設について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称	〇〇株式会社	※整理番号	
	△△工場	※受理年月日	令和 年 月 日
工場又は事業場の所在地	野田市〇〇丁目	※施設番号	
	〇番地の〇	※審査結果	
特定施設の種別	67 洗濯業の用に供する洗浄施設	※備考	
△特定施設の構造	別紙のとおり。		
△特定施設の使用の方法	別紙のとおり。		
△汚水の処理の方法	別紙のとおり。		
△下水の量及び水質	別紙のとおり。		
△用水及び排水の系統	別紙のとおり。		

備考

- 申請者の氏名（法人にあつてはその代表者の氏名）の記載を自署で行う場合においては、押印を省略することができる。
- △印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。
- ※印の欄には、記載しないこと。
- 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本工業規格A4とすること。

(例) クリーニング店 (自動洗濯機)

○ 特定施設の構造

特定施設を含むすべての操業の系統のフローシートを別途提出すること

特定施設の型式、構造、主要寸法及び能力

特定施設番号	67
特定施設の名称	洗浄施設(自動洗濯機)
型式	・〇〇製作所、TOSAUTO—W、平成1年製作 ・(別添仕様書のとおり) 施設の型等があれば記入すること
構造	・ドラム回転式 ・(別添仕様書のとおり)
主要寸法	・幅100cm、奥行105cm、高さ140cm (別添仕様書のとおり) 施設の構造図面を添付すること
能力	・1回13kg ・(別添仕様書のとおり)
備考	・洗濯能力は、1回13kgだが、通常は1回に10kgで使用 設置基数等、特に参考となる事項があれば記入すること

特定施設に係る工事の着手及び完成の予定年月日並びに使用開始の
予定年月日

工事着手予定年月日 令和〇〇年〇〇月〇〇日
工事完成予定年月日 令和〇〇年〇〇月〇〇日
使用開始予定年月日 令和〇〇年〇〇月〇〇日

(例) クリーニング店 (自動洗濯機)

○ 特定施設の使用の方法 (特定施設仕様)

特定施設の使用時間間隔及び1日当たりの使用時間並びにその使用の季節的変動の概要

特定施設の名称	洗淨施設(自動洗濯機)
使用時間間隔	1週間に2日(月、木) 施設の使用時間間隔を記入すること
1日当たりの使用時間	1日当たり2回洗濯 1回当たり0.5時間
季節的変動の概要	夏期については、1週間に3日(月、水、金) 使用時間等に季節的変動がある場合記入すること
備考	汚れがひどい場合については、使用時間が1回当たり0.5時間より長い場合あり

特定施設を含む作業工程において使用する原材料(消耗資材を含む)の種類、使用方法、及び1日(1回)当たりの使用量

使用原材料の種類	・(商品名)キング洗剤 ・(成分)界面活性剤ZO、直鎖アルギルベンゼン、ニルホンサンナトリウム、水軟化剤、蛍光増白剤 汚れがひどい時は、メタケイ酸ソーダ
使用方法	洗濯時に水に溶かして使用
1日(1回)当たりの使用量	1回当たりキング洗剤100g、メタケイ酸ソーダ50g
備考	汚れ具合によりキング洗剤の量の増減あり

全ての作業工程において使用する原材料の使用の状況を記入すること

(例)

○ 特定施設の使用の方法（水質）

特定施設の使用時において、当該施設から排出される汚水等の汚染状態及び量

単位 PH（無単位） その他の項目（mg/ℓ）

水量（m ³ /日）		通常	20	最大	50	
温度（℃）		通常	15	最大	20	
汚 染 状 態	PH	10~12				
	BOD	通常	200	最大	250	
	SS	通常	50	最大	80	
	N—ヘキサン 抽出物質	鉱油類	通常	1	最大	3
		動植物油脂類	通常	15	最大	60
	窒素含有量	通常	10	最大	40	
	燐含有量	通常	2	最大	5	

※上記項目は必ず記入すること

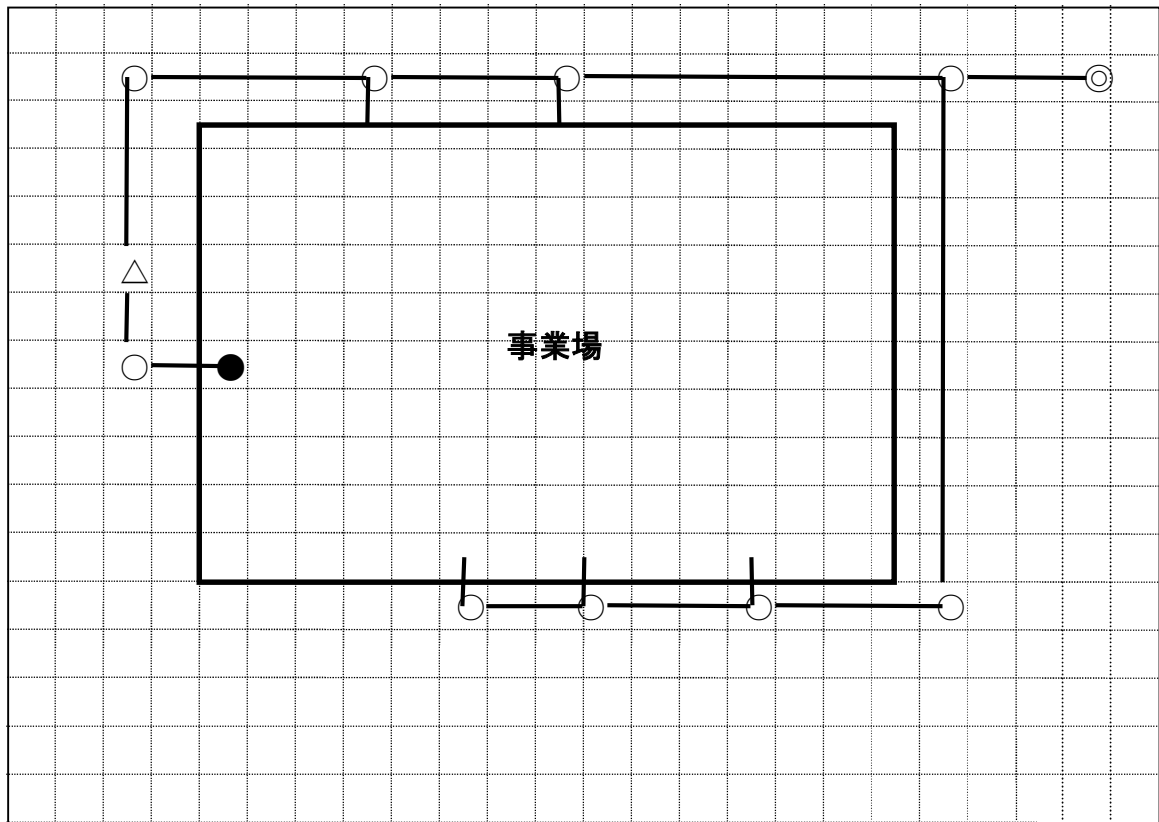
この他に工場・事業場における使用薬品や原料、作業工程等から排出される物質がある場合には項目を追加して記入すること

（該当項目については、「下水の排除の制限」を参照すること）

○ 特定施設の使用について

特定施設及びこれに関連する主要機械又は装置の配置

特定施設設置位置図



凡 例 ●特定施設 △除害施設 ◎公共污水柵 ○宅地内污水柵

(例) 油水分離槽

○ 汚水等の処理の方法（除害施設仕様）

汚水等の処理施設に係る工事の着手及び完成の予定年月日並びに使用開始の予定年月日

工事着手予定年月日 令和〇〇年〇〇月〇〇日

工事完成予定年月日 令和〇〇年〇〇月〇〇日

使用開始予定年月日 令和〇〇年〇〇月〇〇日

汚水等の処理施設の種類、型式、構造、主要寸法及び汚水等の処理方法

処理施設の種類	SK式オイルトラップ (別添仕様書のとおり)
型 式	オイルトラップSF—2 (別添仕様書のとおり) 施設の型等があれば記入すること
構 造	FRP (別添仕様書のとおり)
主要寸法	幅2600mm、奥行500mm、高さ830mm (別添仕様書のとおり) 施設の構造図面を添付すること
能力 (m ³ /日)	2.0~2.3m³/日 (別添仕様書のとおり)
処理の方法	布吸着式 (別添仕様書のとおり)
備 考	油吸着布数 15枚

(例) PH調整槽

○ 汚水等の処理の方法（除害施設の使用）

排水処理に関する工程のフローシートを別途提出すること

汚水等の処理施設の使用時間間隔及び1日当たりの使用時間並びにその使用の季節的変動の概要

処理施設の名称	PH調整槽
使用時間間隔	除害施設の使用時間間隔を記入すること
1日当たりの使用時間	
季節的変動の概要	
備考	

汚水等の処理施設において使用する消耗資材の1日当たりの用途別使用量

処理施設の名称	PH調整槽
消耗資材名	塩酸
用途	アルカリ性排水の中和剤として使用
1日当たりの使用量	9ℓ/日
備考	PH計により自動で塩酸の量を調整

(例)

○ 汚水等の処理の方法 (処理前処理後水質)

汚水等の処理施設による処理前及び処理後の汚染状態並びに量

単位 PH (無単位) その他の項目 (mg/ℓ)

		処 理 前		処 理 後		
水 量 (m ³ /日)		通常 20	最大 50	通常 20	最大 50	
温度 (°C)		通常 15	最大 20	通常 15	最大 20	
汚 染 状 態	PH	10~12		5.8~8.6		
	BOD	通常 200	最大 250	通常 25	最大 30	
	SS	通常 80	最大 100	通常 60	最大 70	
	N—ヘキサン 抽出物質	鉱油類	通常 4	最大 5	通常 1	最大 3
		動植物油脂	通常 20	最大 30	通常 10	最大 15
	窒素含有量		通常 50	最大 60	通常 15	最大 20
	リン含有量		通常 7	最大 9	通常 3	最大 5

「○特定施設の使用の方法 (水質)」において記入したものと同一物質を記入すること

(例)

○ 汚水等の処理の方法（残さの種類、処理）

汚水等の処理によって生ずる残さの種類及び1ヶ月間の種類別生成量並びに処理の方法の概要

残さの種類	汚泥
生成量（t/月）	0.15t/月
処理の方法の概要	指定業者に処理を委託
備考	処理委託業者との契約書の写し添付

業者に処理を委託している場合は契約書の写しを添付すること

(例)

○ 汚水等の処理の方法（廃水の処理）

回収した廃水の処理の方法

	種 類	量 (m ³ /日)	
回収した廃水の種類 及び量	炭酸カリウム	0.1	
	亜硫酸ナトリウム	0.5m ³ /月	
	チオ硫酸アンモニウム	0.1	
	水酸化カリウム	0.2	
処理の方法	指定業者に処理を委託		
備考	処理委託業者との契約書の写し添付		

業者に処理を委託している場合は契約書の写しを添付すること

(例)

○ 下水の量及び水質

特定事業場の排出口における排出水の汚染状態及び量

単位 PH (無単位) その他の項目 (mg/ℓ)

水量 (m ³ /日)		通常	20	最大	50	
温度 (°C)		通常	15	最大	20	
汚 染 状 態	PH	10~12				
	BOD	通常	200	最大	250	
	SS	通常	50	最大	80	
	N-ヘキサン 抽出物質	鉱油類	通常	1	最大	3
		動植物油脂類	通常	15	最大	60
	窒素含有量	通常	10	最大	40	
	燐含有量	通常	2	最大	5	

○ 汚水の排出の方法

排出水の公共用水域への排出の方法

排出の方法

自然放流にて公共污水ますへ排出

排出口数

1箇所

排出先（主たる公共用水域に至るまでの経路及びその水域名）
公共污水ます→桜台幹線→江戸川左岸流域下水道

(例)

○ 用水及び排水の系統

用途別用水使用量 (単位：m³/日)

用途 \ 水源	水源					合計
	上水道	工業用水道	地下水	回収水	その他	
原料用水	通常	通常	通常	通常	通常	通常
	最大	最大	最大	最大	最大	最大
製品処理・洗淨用水	通常 1.5	通常	通常	通常	通常 1.0	通常 2.5
	最大 2.0	最大	最大	最大	最大 2.5	最大 4.5
ボイラー用水	通常	通常	通常	通常	通常	通常
	最大	最大	最大	最大	最大	最大
冷却用水	通常	通常	通常	通常	通常	通常
	最大	最大	最大	最大	最大	最大
生活系用水	通常 1.0	通常	通常 2.0	通常	通常	通常 3.0
	最大 1.5	最大	最大 2.5	最大	最大	最大 4.0
その他	通常	通常	通常	通常	通常	通常
	最大	最大	最大	最大	最大	最大
合計	通常 2.5	通常	通常 2.0	通常	通常 1.0	通常 5.5
	最大 3.5	最大	最大 2.5	最大	最大 2.5	最大 8.5

その他特定施設の構造・使用方法・污水管の処理方法、排出水の汚染状態及び量等について参考となるべき事項

製品洗淨には、中水を使用

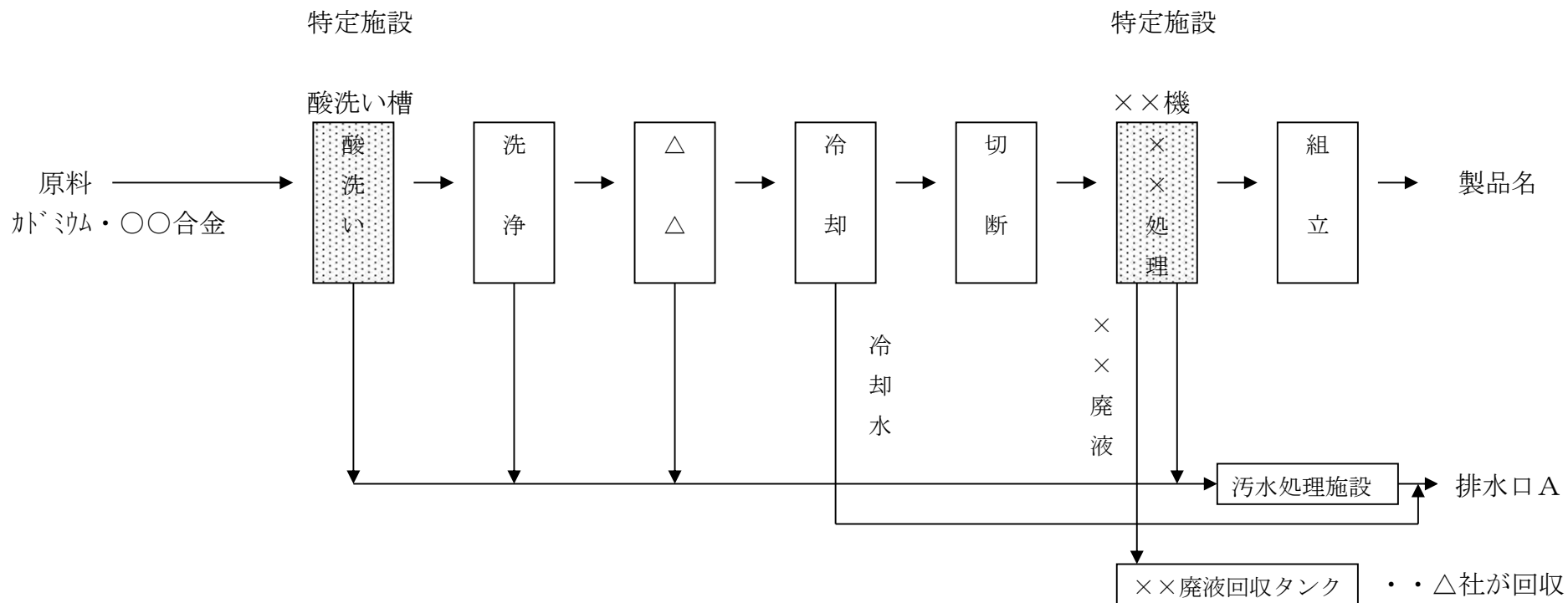
(例)

○ その他の参考事項

産業分類番号 及び名称（小分類）	番 号 名 称	5931 ガソリンスタンド
主要生産品目	ガソリンの販売及び自動車点検整備	
資本金	10,000,000円	
創業年月	昭和63年10月	
従業員数	5人	
操業時間	7時 ~ 22時	
敷地・建築面積	敷地 500㎡、建築面積 150㎡	
電話番号	〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇	
担当部課名	店長	
担当者氏名	〇〇 〇〇〇	
その他		

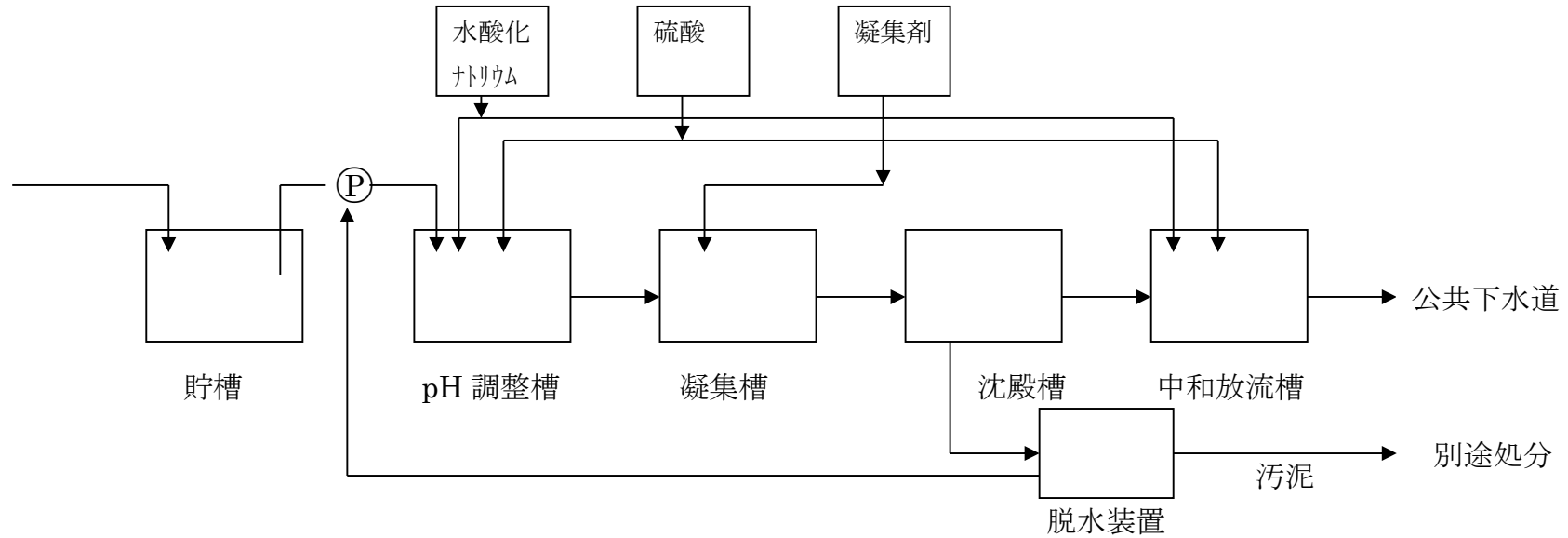
※特定施設を含むすべての操作の系統のフローシート（記入例）

- ・ 特定施設を含むすべての操作の系統を記入すること。
- ・ あわせて汚水の系統も記入すること。



※排水処理に関する工程のフローシート（記入例）

- ・ 構造、主要寸法、容量、能力を記入すること。
- ・ 構造図面及び仕様書を添付すること。



装置名	構造	寸法	容量又は能力	滞留時間
貯槽	コンクリート製	○m×○m×○m	○m ³	2時間30分
pH調整槽	○○製	○m×○m×○m	○m ³	30分
凝集槽	○○製	○m×○m×○m	○m ³	15分
沈殿槽	○○製		○m ³	3時間
中和放流槽	○○製	○m×○m×○m	○m ³	30分
脱水装置	フィルタープレス		ろ過面積○m ²	